

教職員各位

感染者数減少に対応した研究室利用方針の変更について

野中謙一郎

本学では COVID-19 感染防止について常に能動的な対応を行ってきました。感染拡大状況に応じた入構制限の強化・緩和の調整、検温・IC カード確認、ワクチン接種者数の調査、職域接種の実施、接種会場の情報提供、PCR 検査・抗原検査実施、研究室使用願いによる登校学生の把握、研究室利用ガイドライン遵守など、他大学と比較しても、学生の安全に配慮した措置を取れています。

現在、学生が研究室を利用する際は、利用時間は 8:00～20:00 に一律に限定した上で、研究室の利用者数を平時の 50%以内に制限しています。この制限のために入室出来ない学生には自宅での作業を求めています。しかし、最近の感染状況では、感染者数は指数関数的に減少し、現時点でも単調減少しています。一方で今後第 6 波が来る可能性を考慮すると、必要な感染防止策は継続する必要があります。

そこで 11 月 1 日以降は、下表の様に、利用時間は 8:00～20:00 に留め、PCR 検査体制は維持したまま、利用者数の一律 50%以内の制限を三密回避に緩和して、研究室での対応により全員の登校を可能にし、対面での活動を前提とできる様に変更することを 10 月 25 日開催の学長会議で決定しました。総務課から配布する研究室利用申請の新しい書式と研究室利用ガイドラインに基づいて、研究室・実験室を利用していただくようお願いいたします。

変更内容一覧

	変更前(～10.31)	変更後(11.1～)	備考
利用時間	8:00～20:00	8:00～20:00	変更なし 20:00 以降は不可
研究室利用願い	必須	必須(書式変更)	変更なし 検査状況把握に必要
PCR 検査	ワクチン未完了者	ワクチン未完了者	変更なし 検査数増も対応可
利用者数制限	三密回避、かつ 平時の 50%以内	三密回避	研究室での対応で全 員が登校可
研究活動の内容	必要性の高いものに 限定	限定しない	対面での活動を前提 とできる
発表会等	オンラインのみ	必要に応じ対面可 オンライン活用は推奨	

なお、感染者数の急増など状況が変化した場合は、迅速に制限を強めることとします。

以上